

資料－1 神埼市都市計画マスタープラン策定経緯等

神埼市都市計画マスタープラン策定経緯

年 月 日	事項及び内容
平成23年 6月24日 ～7月31日	まちづくりアンケート調査実施
12月19日	第1回まちづくりワークショップ実施
12月22日	平成23年度第1回神埼市都市計画審議会
平成24年 1月12日	第2回まちづくりワークショップ実施
1月26日	第3回まちづくりワークショップ実施
2月14日	第4回まちづくりワークショップ実施
2月27日	府内関係課協議
3月 5日	平成23年度第2回神埼市都市計画審議会
3月 7日 ～21日	パブリックコメントの実施
3月12日	佐賀県（まちづくり推進課）との協議
3月13日	府内関係課協議
3月23日	平成23年度第3回神埼市都市計画審議会

神埼市国土利用計画審議会への諮問及び答申

(諮問)

神埼市都市計画マスタープラン策定について

神埼都市計画マスタープランについて、別紙計画にもとづき策定したいので、神埼市都市計画審議会設置条例第2条の規定に基づき、貴審議会の意見を求める。

平成23年12月22日

神埼市長 松本 茂幸

(答申)

平成24年3月26日

神埼市長 松本 茂幸 様

神埼市都市計画審議会
会長 山口 義文

神埼市都市計画マスタープラン（案）について（答申）

平成23年12月22日に諮問がありました、神埼市都市計画マスタープラン（案）について、本審議会で慎重に審議した結果、別冊の通りまとめましたので答申します。

なお、各施策の実施に当たっては、本審議会の意見等を十分尊重され、神埼市の将来像であります「暮らしやすさと活力にあふれた魅力ある未来都市」の実現に努められるよう要望いたします。

平成23年度神埼市都市計画審議会委員名簿

区分	委員	所属及び役職など
住民	○鶴廣信	神埼町地域審議会長
	嶋 榮	千代田地域審議会副会長
	實松 英治	脊振地域審議会長
識見者	吉岡 勇	神埼市農業委員会長
	松田 敏	佐賀県農業協同組合神埼地区担当常務
	古賀 義治	神埼市商工会长
市議会議員	田原 和幸	産業建設常任委員
	◎山口 義文	産業建設常任委員
関係機関	古川 繁樹	佐賀県佐賀中部農林事務所長
	小渕 重義	佐賀県神埼土木事務所長

◎ 会長 ○副会長

(敬称略)

神埼市都市計画審議会設置条例

平成 21 年 9 月 28 日
条例第 30 号

(設置)

第1条 都市計画法（昭和43年法律第100号）第77条の2第1項の規定に基づき、神埼市都市計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会の所掌事務は、次の通りとする。

- (1) 市長の諮問に応じ、都市計画に関する事項について調査審議すること。
- (2) 都市計画に関する事項について、関係行政機関に建議することができる。
- (3) その他、市長が都市計画上必要と認める事項に関すること。

(組織)

第3条 審議会は、次に掲げるものにつき市長が任命する委員をもって組織する。

- | | |
|---------------|----|
| (1) 識見を有するもの | 3人 |
| (2) 市議会の議員 | 2人 |
| (3) 関係行政機関の職員 | 2人 |
| (4) 住民 | 3人 |

2 委員の任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

3 委員は再任を妨げない。

(臨時委員及び専門委員)

第4条 審議会に、特別の事項を調査審議させるために必要があるときは、臨時委員若干人をおくことができる。

- 2 審議会に、専門の事項を調査させるため必要があるときは、専門委員若干人を置くことができる。
- 3 臨時委員及び専門委員は市長が任命する。
- 4 臨時委員は、当該特別の事項に関する調査審議が終了したとき、専門委員は当該専門の事項に関する調査が終了したときは、それぞれ解任されるものとする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長の選任は、委員の互選によるものとする。
- 3 会長は、会務を総務し、会議の議長となる。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、会長が招集する。

- 2 審議会は、委員及び議案に関係のある臨時委員の2分の1以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席した委員及び議案に関係のある臨時委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(答申)

第7条 会長は、諮問事項を議決したときは、速やかに市長に答申しなければならない。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、産業建設部建設課において処理する。

(委任)

第9条 この条例に定めるものの他、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附則

この条例は、公布の日から施行する。 (平成21年9月28日)

資料－2 ワークショップの記録

1. ワークショップの概要

（1）ワークショップの目的

神埼市の課題や今後の将来像について、ワークショップ形式で市民のみなさんから様々な意見をいただき、その内容を「神埼市都市計画マスタートップ」に反映させ、市民の視点に立ったまちづくりを推進することを目的としています。

（2）ワークショップとは

「ワークショップ」とはいわゆる会議形式ではなく、あるテーマについて立場や経験の異なる参加者で対等に自由に意見を出し合い、お互いの意見や立場を楽しく学びあいながら、積極的に交流し、アイデアを出し合う手法のひとつです。

具体的には、少人数のグループに分かれて話し合いを行い、自由な発想のもと、付箋に書いた意見を大きな紙に貼り出し、参加者のみなさんの意見をまとめていきます。

（3）開催経過

	開催日時	検討テーマ	参加人数
第1回	平成23年12月15日 19:00~21:00	ガイダンスと まちの通信簿の作成	30名
第2回	平成24年1月12日 19:00~21:00	地域の点検マップの作成	20名
第3回	平成24年1月26日 19:00~21:00	地域の将来像と 具体的取り組みの検討	18名
第4回	平成24年2月14日 19:00~21:00	地域の重点プロジェクトの作成	14名

(4) 実施内容

■ 第1回～ガイダンスとまちの通信簿の作成～

①ガイダンス

ワークショップの進め方やルール、都市計画マスターplanについて、共有します。

②「まちの通信簿」の作成

5つのテーマについて、採点とその理由をみんなで意見しあい、まちの問題点や資源をレーダーチャートで視覚的に整理・共有します。



■ 第2回～地域の点検マップの作成～

①地域別にグループ分け

神崎町、千代田町、脊振町の3地域別にグループ分けを行います。

②「地域の点検マップ」の作成

前回の5テーマに沿って、各地域の問題点・改善すべき点と、各地域のお宝をみんなで出しあい、地域の問題点や資源を視覚的に整理・共有します。



■ 第3回～地域の将来像と具体的取り組みの検討～

①「地域の将来像」の作成

「地域の点検マップ」をもとに、将来の夢やキヤッチフレーズ等を決め、それを皆で共有します。

②地域の取り組みの整理

その実現に向け取り組みアイデアを出し合い整理します。



■ 第4回～地域の重点プロジェクトの作成～

① 地域の重点プロジェクトの検討

地域における取り組みアイデアについて、重点的なものを絞り込み、それを実現するための具体的な企画を考えていきます。

その企画については提案書としてとりまとめ発表し、地域別構想に活かしていきます。



2. 各回のワークショップニュース

計4回のワークショップ開催の結果を各回ごとにニュースとしてまとめました。次ページ以降にその内容を掲載しています。

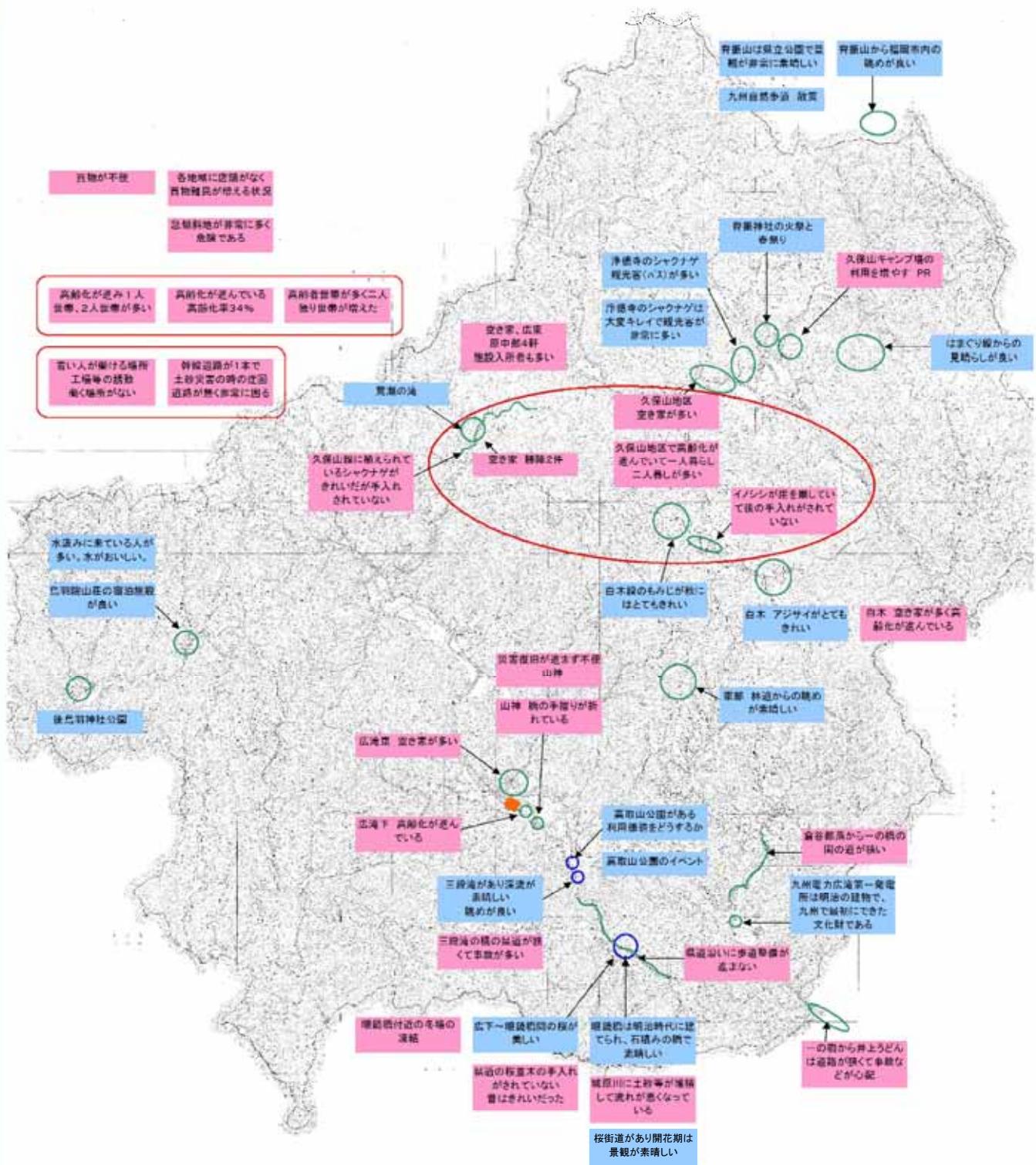
ニュースには、回ごとの検討テーマ、皆さんの検討作業の結果、および各回ごとにお願いしたアンケートの集計結果を整理しています。

いまの神埼市を探点してみよう

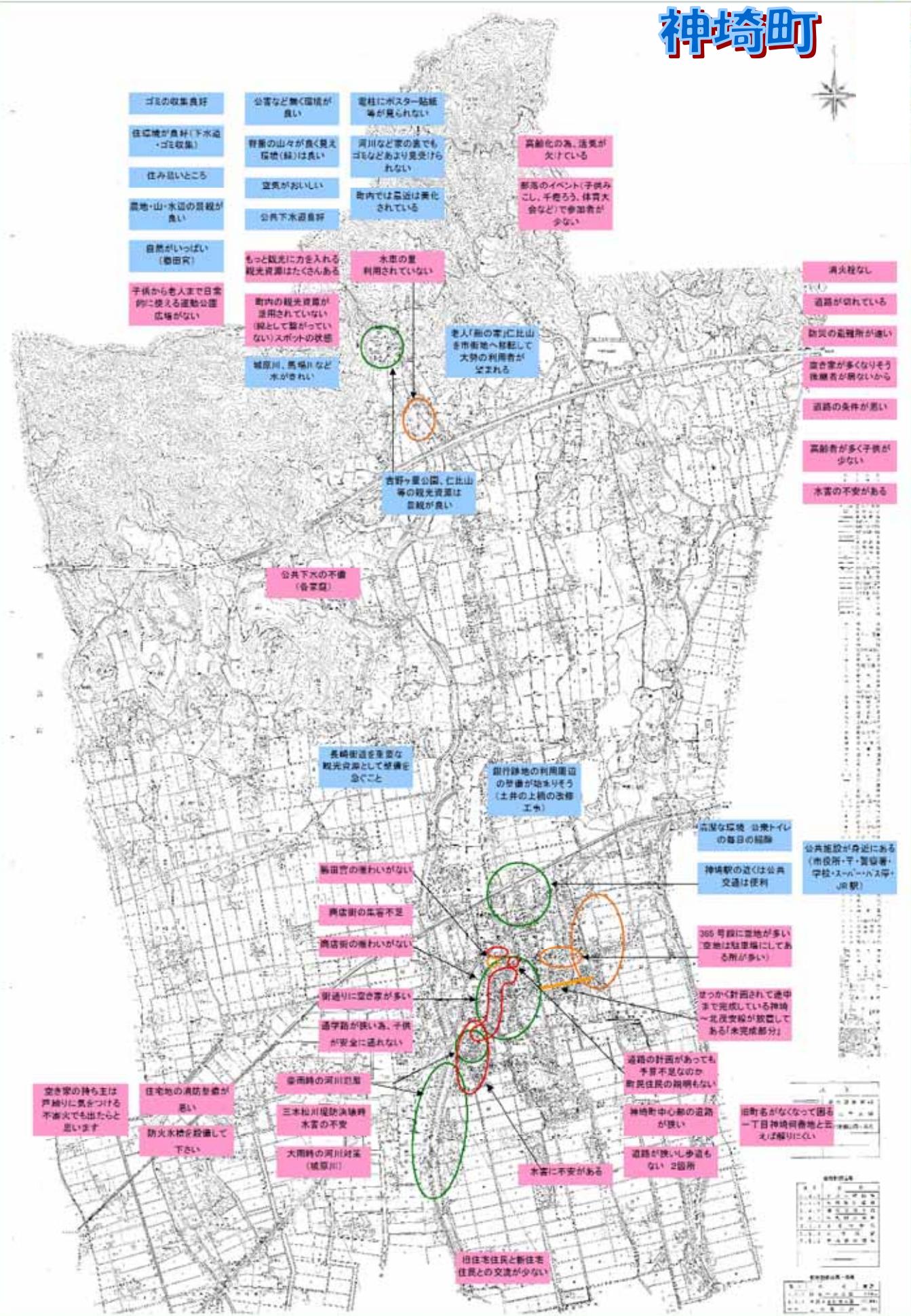
神埼市のもとづくりの課題を考えるために、まずは現在の暮らしの状況について振り返り、満足している点や改善すべき点を洗い出すことが必要です。今回は、参加者が4つのグループに分かれて、神埼市の現況について認識を探りました。

結果発表のようす		住環境	みどり・景観	観光・にぎわい	防災	交通	
1 班	 	・淨化槽 ・静か ・住み易いところ ・買い物に不便	・伝統文化に良い所です ・山が豊かである ・空気がおいしい、緑がきれい ・緑が多い ・滝の花ビンク	・人の集まらない ・活気がない ・人通りが寂しい ・名前日跡がない ・名所はあるが人が集まつてこない、 ・非常に危険である。河川防災対策	・まだまだと思う ・地域では防災の整備は城原川の底 ・上げが必要 ・災害(水害)怖い ・川・クリークの安全性 ・道路が狭くて事故のことが心配です	・東西南北どちらへ行く事が出来る ・便利が悪い ・道路の整備か? ・公共交通機関の不足 ・道線条件が悪い ・道路が狭くて事故のことが心配です	
2 班	 	4点：不便さもあるが静かで住みやすい 5点：四季を通して田畠、山の緑がよし	・九州一広大な原色、平野 ・黄金色の船 ・輸出の県 ・自然が一杯・農地も無い ・河川の法面が崩れている ・樹木が少ない、景観の単純化 ・水害対応が水害対応している ・人の命の後悔をしていない	2点：観光資源がなく、活気もない 2点：商店街や水路の防災がまだ不十分	・長崎街道の商店街であり祭りやイベント ・人も多數あり満足しています ・歴史ある郷土であるが、PR不足、街並みの魅力がない ・全国的に商店街が変貌してゐる、人型商店 ・美施設に客が来れない ・高取山公園があつるけど東名方が多い ・観光資源として資源がなく、受身	・地域が高く滝水の心配もなく避難所は、 消音活動等によくやっている。洪水でも あれば避難するが高い、建物がない ・県道沿い城原川の人口による崩れ危 険が悪い ・水害の不安がある(特に流水が流れを 巻く) ・城原川の土砂災	3点：幹線はよいが、バスや生 活道路は不便で危険 3.5点：交通の便はよいか、市 内のバスや道路整備は不十分 ・道が狭い、自転車で歩けない ・自治防災(消防団他)さらに充実(性) ・JRバス、公共、タクシー等はOK ・公の機関が悪いです ・駅が良い、花がとても咲く、水郷 が多め、消防団が多め、 ・水辺で遊べる公園が少ないので危険。火災予 防が効かない ・城原川の氾濫
3 班	 	4点：汚水処理やマナーに問題があるが住みやすい 4点：緑が多くて景色もよいが、单调な感じ	・一帯で所有する人が多い。家賃 が低い。 ・駅、施設、ゴミ処理、水道不便 ・施設が古いがやや古虫が多い、 ・生活環境が良いが少子高齢 化が進んでる。生活力の低下、 ・家付近の道路が狭くて車が通れない、 ・食事、買物等の店が少ない為、神埼市 外に行く事が多い(特に老人)	2点：観光資源はあるが、宿は 少なく、商店街も寂しい 2点：観光資源はあるが、宿は 多くて、商店街も寂しい	・家の周りは全て公園地帯が多い ・山畠が多い所は城原川に面して 山畠、花畠、変化が少ない、 ・神社、寺は最近が多く、 ・水路一帯にあり、 ・城原川、世坂の山々、城原宮 ・緑はあるけど景観あまり良くない、 ・河がありません。	・家の裏に砂が山米なので安心 ・自治防災(消防団他)さらに充実(性) ・JRバスが悪いです ・バスの本数が少ないので、植上げ ・神社、寺が多め、消防団が少ないので危険。 ・車の運行が少ないので、 ・城原川の氾濫	3点：交通の便はよいか、市 内のバスや道路整備は不十分 ・道が狭い、自転車で歩けない ・自治防災(消防団他)さらに充実(性) ・JRバス、公共、タクシー等はOK ・公の機関が悪いです ・駅が良い、花がとても咲く、水郷 が多め、消防団が多め、 ・水辺で遊べる公園が少ないので危険。火災予 防が効かない ・城原川の氾濫
4 班	 	3点：たどいたい住みやすいが、高齢化でこれからが心配 4点：農地や山の緑、水辺がよいが、景観はそれ程でもない	・トイレ取扱、下水道完備 ・私は他の中での生活 ・学校が良い、公共施設、住居が少ない、 ・山野地の空家が多い、 ・空家が多くなっている	2.5点：観光資源が少なく、あ つても活用されていない 2.5点：観光資源が少なく、あ つても活用されていない	・名所旧跡なし ・水郷地が良い、 ・良好 ・緑も多いアシサイも多い、 ・供達が少ない、公園がない、 ・市内に人が少ない、	・河川の増水 ・防災計画がしっかりしているとは思わ ない、 ・消防隊を作っていない、 ・防火槽、道路上 ・人が少ない、	3点：バスや車の整備が不十 分。自分達のマップが必要 ・道路整備 ・道路計画が見えない、道路整備、公共 交通機関 ・信号機少ない、 ・車を運転する人が多いが老人さんは 動かない、 ・便が悪い、

脊振町



神崎町

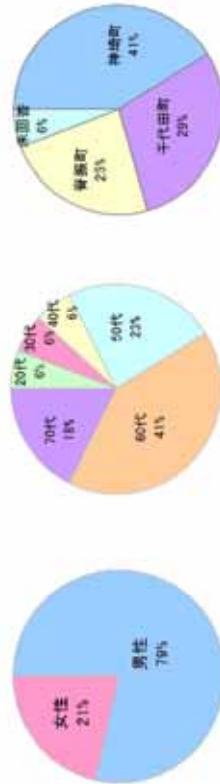


千代田町

心臓血管の病気
が心臓血管の病気

アンケート結果

問1 参加者のみなさんにについてお知らせください。(性別・年齢・お住まい)



第3回 神崎市まちづくりワークショップ 地域の将来像と具体的取り組みを考えよう!



問2 本日の作業はいかがでしたか。



問3 本日のワークショップで、一番印象に残ったことは。

・クリークの有効活用と緑光賛同化が千代田町に生きる方策ということ
が共有できましたこと。
・それぞれの意見があることで勉強になった。
・やはり神崎市は隣、木の町など見つた。
・ダットをしばつた所も面白いなと思った。
・町を造る量に足りない意見が多く出るようになってしまった。
・皆がクリークの活用を地域の財産であり、千代田町活性化の核として活用していくことを考えていました。
・具体的取り組みについて、別の日機で知ることができた。
・市民の将来のビジョンが詰まんできました。今まででは「なんでも行政」と思っていたところを行政だけでもできるところがあることに気づきました。
・市民担当者のまちづくり推進になつた。
・神崎町の名産者。

・知らない事、気づかない事を知ることが出来た。

・地域のいろんな問題を皆で考え語りながら、その解決策を語り組んでいけば、質問が多數浮かび、アツアツの議論会にみえるる桜谷地区の公民館さんみたいにね。
・町で一番つかえる物をたくさん造っていく。
・道路整備等については二町が同じ意見だったこと。

問5 自由意見 (意見抜粋)

・まだ行政というところもあります。でも今、「一番必要なことは、リーダーシップを発揮してくれる強いリーダーが必要ではないか」と思いました。2.25にあるまちづくりの懇親会にみえるる桜谷地区の公民館さんみたいにね。
・各地区とも要望意見等、結構多い。
・町と市民の協働を推進するために、行政側と意識改革をしてほしい。
・もちろん市民の意識改革も大切だが、まちづくりの意見が山積するが、コレサルントも回答しているが、まちづくりの意見を作り上げられるべき。
・次回で最後だが、3月を過ぎた1つの意見を作り上げられればよい。

その他 (欠席者から頂いたご意見)

・商店街はお客様の利便性に非常に来る所づくりに取り組む。自分自身の商業の技術を身につければ、まずは結果を出す。
・個性のある小売業者もまだ活躍はあると思う。東日本大震災もあってからでは無いと思う。(安心、安全な町づくり)
・道路整備を3丁目へ1丁目の方の整備を早急に。市は責任になった。文化と豊かな、農商工連携として、商店街活性化を図して歴史保存会、CSOまちづくり、神崎町商店会共同でやせないものか。
・将来を見越し、若狭・千代田・神崎も高齢者の為のコンビニエンストアを福利厚生で考えていってはどうか。
・水の軍」神崎。川を活かして、馬場川の更信組合の東にいよいよアシス。千代の思い出作りを実現したい。

本日のプログラム

第3回「神崎市まちづくりワークショップ」は、「地域の将来像と具体的取り組みの検討」をテーマに、1月26日(木)19時から行いました。神崎町6名、神崎町7名、千代田町5名の計18名の方が参加されました。

まず、前回の「地域の点検マップづくり」作業の振り返りを行いました。3つの地域ごとに、地図上でどんな「良いところ(=宝物・資源)」「悪いところ(=課題・問題)」があるのか確認していきました。今回のワークは、まずは「地域の将来像」をテーマに、思いつくイメージを言葉にして模造紙上に整理しました。

次に、前回作業成果の「宝物・資源」と「課題・問題」を活かす・改善するため、ホストイットに「具体的な取り組みアイデア」を書き出し、地図に示していく作業を行いました。さらに、「行政」「市民・地域」「協働」で色分けしました。

今回の作業により、前回点検マップだった地図は、今後の取り組みマップとなり、その主体が明らかになりました。過去経験した他の地域での成果に比べ、神崎市は「市民・地域」「協働」の取り組みが多く、自主性の高さに特徴があると感じました。

ワークショップの構成

- 第1回 平成23年12月15日(木)
●「ガイドンスとまちの通信簿」
- 第2回 平成24年1月12日(木)
●「地域の点検マップの作成」
- 第3回 平成24年1月26日(木)
●「地域の将来像」と
●「具体的取り組みの検討」

将来像は言葉(フレーズ)で整理し、取り組みは地図上に整理しました。

- 第4回 平成24年2月9日(木)
●「地域の重点プロジェクトの作成」



脊振町

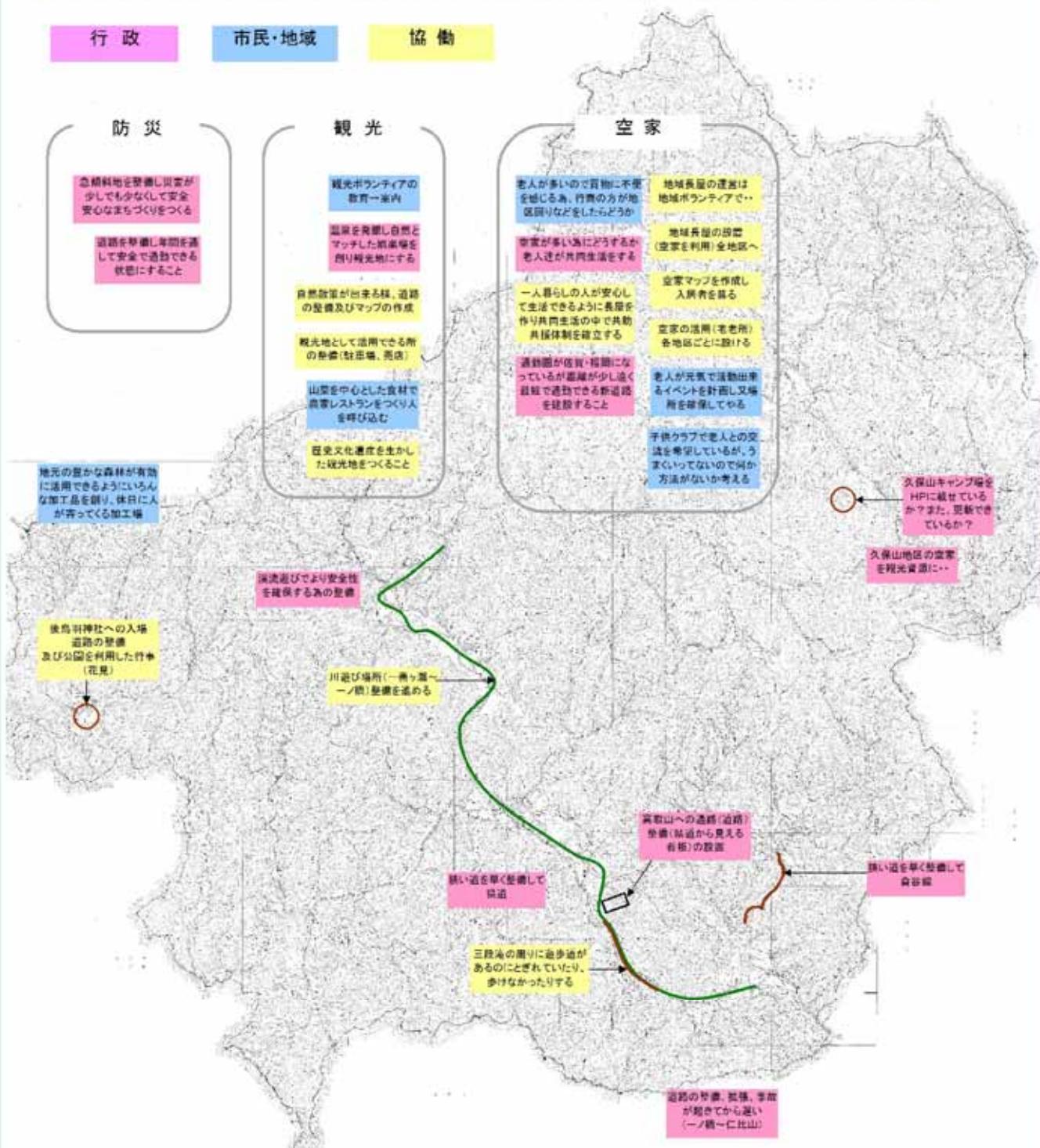
脊振町の将来像（キャッチフレーズ）

- ・子供達が楽しく遊べるまち
- ・若者が定住できるまち
- ・自然を満喫しよう
- ・清流と遊ぶ子供の笑顔
- ・自然を活かしたレクリエーションのまち
- ・人が集まつてくるようなまち
- ・溪流遊びの出来るまち
- ・自然豊かな観光のまちで都会から人を呼び込める花一杯のまち
- ・跡取り息子さんが帰つてくる魅力あるまち
- ・森林の里
- ・雲霧（苑）の里

行政

市民・地域

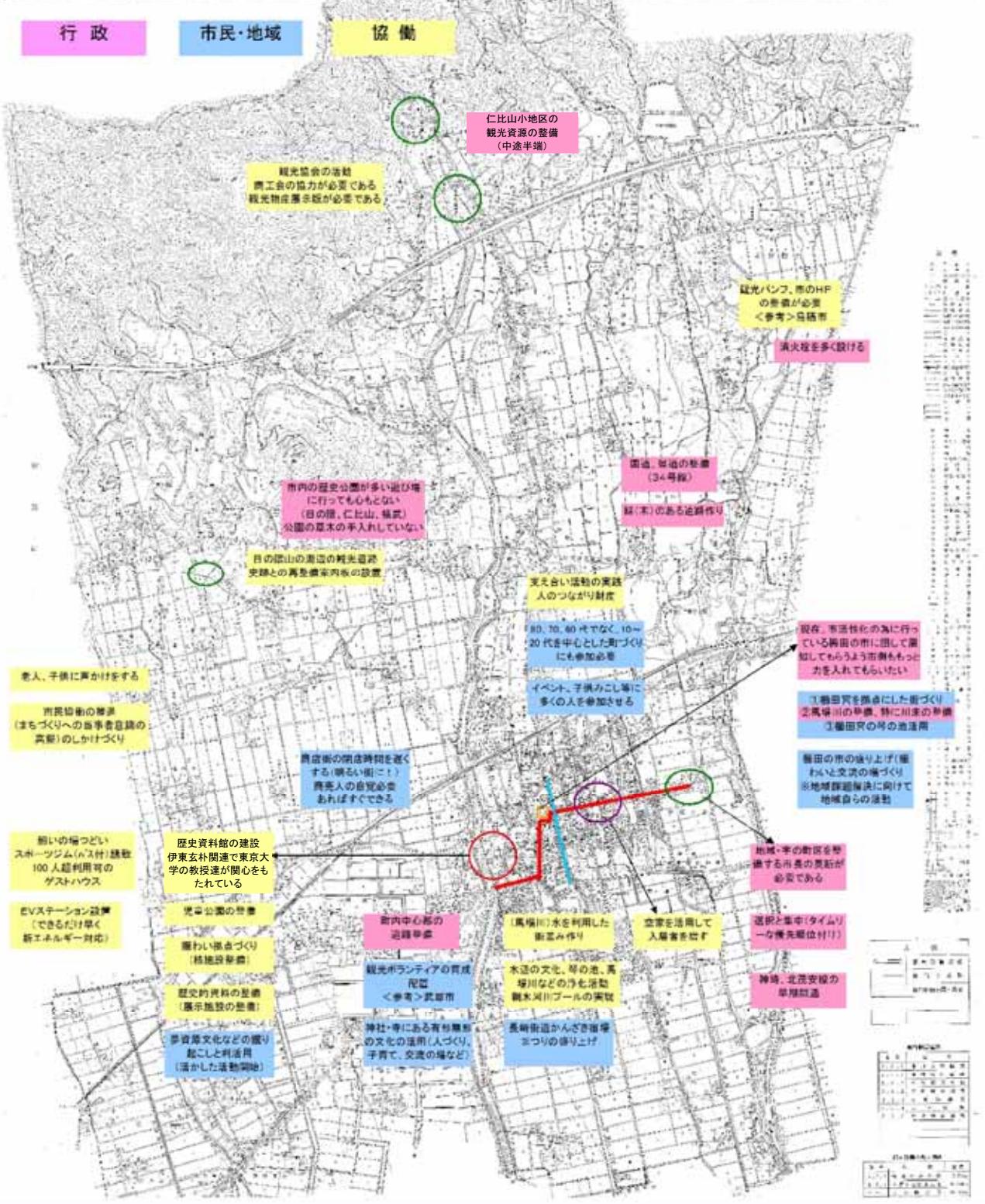
協働



神埼町

神崎町の将来像（キャッチフレーズ）

- ・地域間の交流（近所づき合い）意識改革・若さと活力に満ちる元気なまち・歴史と文化財に満ちた楽しいまち
 - ・神埼町が交流拠点となる（背振～神埼町～千代田を結ぶ直線道路が必要）
 - ・学園都市づくり（市内の若者が減少しているので西九州大生と市の交流を活発に）
 - ・老人と子供にやさしいまち、にぎわいのあるまち、通勤通学が便利なまち
 - ・子育て環境No.1 まちづくり、コンパクトシティづくり
 - ・あるものを生かすまちづくり、誇りあるまちづくり、歴史文化を誇る人づくりまちづくり、住む人も来る人も楽しいまちづくり
 - ・水と緑と歴史のまち、「つなげよう気持ち、つながろう地域」、市民自ら行うまちづくり



第4回 神埼市まちづくりワークショップ！ 地域の重点プロジェクトの作成！

アシスター^ト課

問1 おおむねのうがきを二つ(「おおむね」、「おおむね」)、(「おおむね」、「おおむね」)



問2 本日の作業はいかがでしたか

・机を並べることで、活潑な意見が多くなるようになってしまった。

みんなが心地よいことに感心しました。
毎回のまとめの前振りが、とてもよくできていた感心しました。
具体的な企画につながるようなプランが4回ででき、なおかつ
RSKレポートでできたことは、うれしい限りでした。
考えていたことが、みなぎんよく知つてもらえた。
始発地のプラン作成が結構楽しかった。
最初できるか不安だったが、やってみたら
自分たちでできることがたくさんあること、良い所や悪い所が見えました。
てきたことは、大変良いことと思いました。
第4回は、クルマの仕組みがよくわかった。
地域のいろいろな問題が、今回のワーキングショップで発見できたと思
います。今後のワーキングショップが精神論のまちづくりに大いに貢献さ
ることを期待します。
町の中で取り組みを含めればぜひ参加したい、問題の多さに
向かって始めるべきところもつとて学びやすいと感心しています。

問6 ワークショップに参加した感想は

これまで終わりではなく、今回のこの内容を十分にいかしてほしい、
まずは、参鶴み出すことの大変なことはわかるが、今らの仕事
と合わせて、地域の防災マップ作りを手助けしてほしい、
みなさんのまちづくりに対する熱意が強く感じられた。

問5 今後の活動取組に変化がおつたか



- 多変化があつた
195
- 変化があつた
196
- 人々の意見が多く聞くことができた。
地図、テレビ、雑誌など多方面があつた。
- できるだけでは荷になつたが、来てやっているうちに楽しくなつた。
地図をもっと知つてみたいと思つた。
地図市への認知度を上げる上で、今回のテーマが基礎づくりになる
と思います。

図3 全4回のワークショップで、一番印象に残ったことは何ですか？

みんなが心地よいことに感心しました。
毎回のまとめの前振りが、とてもよくできいて感心しました。
具体的な企画につながるようなプランが4回ででき、なおかつ
RSKレポートでできることをうまいこと説明していました。
考えていたことが、みなぎんよく知つてもらえた。
始発地のプラン作成が興味深かったです。
最初できるか不安だったが、やってみたら
自分たちでできることがたくさんあること、良い所や悪い所が見えました。
てきたことは、大変良いことと思いました。
第4回は、クルマの仕組みについてでした。
毎回、各地区とともに良い点とめができたこと、
地域のいろいろな問題が、今回のワーキングショップで発見できたと思
います。今後のワーキングショップが精神論のまちづくりに大いに貢献
されることを期待します。
町の中で取り組みを進めることがあればぜひ参加したい、問題の多さに
向かって始めるべきところもつとめて学びやすいと感想しています。

問題6 ワークショップに参加した感想は

これまで終わりではなく、今回のこの内容を十分にいかしてほしい、まずは、参鶴み出すことの大変なことはわがるが、今らの仕事と合わせて、地域の防災マップ作りを手助けなどしてほしい。でも、まず自分たちで、みなさんのまちづくりに対する熱意が湧く感じられた。

行政と市民が一体となるための方策を、行政側も考えてほしい。

できる生徒では前にならなかったが、来てやつておいたと思つた。
お嬢様をもつと知つてみた上で、今回のテーマが基礎づくりになる
と思います。

本日のプログラム

- 開会 1. あいさつ 2. 前回の振り返り 3. 本日の進め方 4. 木日のワーク 「地域の重点プロジェクト」の検討 5. 発表・意見交換・まとめ 6. 閉会 7.

ワークショップの構成

第1回 平成23年12月15日(木)
●「ガイドンスとまちの通信簿」

第2回 平成24年1月12日(木)
 ●「地域の点検マップの作成」

第3回 一 十四 24年1月26日(木)
●「地域の将来像と
具体的取り組みの検討」
将来像は、7葉(フレーム)で整理し、
取り組みは地区上に整理しました。

第4回 平成24年2月14日(火)
●「地域の重点プロジェクトの作成」

今回でいよいよ最終回、第4回「神崎市まちづくりワークショップ」は、「地域の重点プロジェクトの作成」をテーマに、2月14日（火）19時から行いました。当初の予定期は9日（木）でしたが、雪の影響で路線が遮断し、延期となりました。急な日程変更にもかかわらず、計13名の方にご参加いただきました。

地図をこよなく「地域の重点像と具体的取り組み」の振り返りを行いました。地図に沿って、「地域の重点像」と「地域の課題を解決してくれるもの」の2つの重点プロジェクトを抽出しました。

今回のワークは、まず「地域の重点プロジェクト」の取り組みから行いました。赤シール「すぐに対応できるもの」、青シール「地域の課題を解決してくれるもの」の2つの重点像から、各プロジェクトに投票を行い、2つの重点像を抽出しました。その結果として、各地域2ヶ所、計6ヶ所のプロジェクト企画が完成。項目に沿って検討するうちに、より具体的な企画が生まれ、今後活動を具体化していく意図で、

A collage of four images showing a person in a white lab coat and mask working on a whiteboard or paper in a classroom setting. The images show the person from different angles, interacting with others and writing on the board.

春搬地区 重点プロジェクトについて、 神埼地区

- 空き家マッチづくりによる空き家のへ入居促進
- 道端整備（壁塗装・土壠保）とあわせた自主防災
- 高齢者が元気に活動できる、イベント会場
- 地区活動にしたてた商店街、イベント会場
- 川遊び場所（一番ヶ瀬へーーー場）整備・促進
- 道端整備（一番ヶ瀬）マップづくりによる自然散策
- ー人暮らしの人が安心して生活できる地域共同長屋
- 観光ボランティアの人材育成・案内会が実現
- 山腰を中心とした山地元食材の農家レストランづくり
- 子どもクラブによる高齢者との交流促進
- 豊かな森林を活用した加工品づくり

多くの人が集い交流できるスペースの整備と活用企画	●●●●●
馬場川や水辺の文化を活用したまちなみづくり	●●●●●
郷土の市の盛り上げ	●●●●●
歴史的資料の展示施設の整備・活用	●●●●●
神社・寺にある有形無形の文化の活用	●●●●●
児童公園整備・活用	●●●●●
まちやかかの空き家活用	●●●●●
祭りやまちづくり活動への若者・子どもも参加促進	●●●●●
長崎街道かんざき宿場まつり盛り上げ	●●●●●

について、具体的な企画案が完成しました！

千代田地区

神埼市都市計画マスターplan

発行：平成 24 年 3 月

編集：佐賀県神埼市産業建設部建設課

佐賀県神埼市神埼 410 番地 〒842-8601

tel 0952-52-1111(代) fax 0952-52-1120

URL <http://www.city.kanzaki.saga.jp>